



第10回 LLブックセミナー

える える ぶ っ く

LLブック

よ ほん
(読みやすくわかりやすい本)

だれもがみんな読書を楽しみたい。
知的障がいや自閉症、読み書き障がい
などがあっても、願いはいつしょ。

すす
を進める

LLとは、スウェーデン語のLättlästの略語で、「やさしく読める」という意味です。

知的障がいや自閉症の人に、本を届ける

一代読サービスとLLブック最新情報

知的障がいや自閉症の人に本を届けるためには、やさしく読める本を作ることと、作った本を彼らの手元まで届け、彼らが見たり聞いたりできるように援助することです。

第10回セミナーでは、知的障がいの人に、好きな本を届けて、内容がわかるように代読サービスを実践されてきた山内薫さんからお話いただきます。攪上久子さんから、世界のバリアフリー絵本展の11年間をふりかえり、展示されてきた本と、その中でのLLブックの動向をご紹介します。

最後に、神戸大震災から20年が経ち、大阪市は障がい者や外国人への災害時の情報保障をどのように進めてきたのか、紹介していただきます。多くの方の参加をお待ちしています。

日時：2015年 1月11日 (日曜日)

13:00~16:30 (開場：12:30)

定員：300名 (当日先着順)

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

にゅうじょう
入場

大阪市西区北堀江4丁目3-2

地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線

西長堀駅7号出口すぐ

電話：06-6539-3326

FAX：06-6539-3336





えるえるせみなーぶろぐらむ

13:00～13:10 あいさつと趣旨説明 吉田くすほみ(大阪特別支援教育振興会)

13:10～14:10 図書館での知的障がいの方への読書支援と代読サービス

山内 薫(墨田区立ひきふね図書館)

長年、墨田区の図書館員として、知的障がいや自閉症の人に、本を届ける仕事を続ける。その仕事を綴った著書に「本と人をつなぐ図書館員」「高齢者と障がい者のための読み書き代読・代筆情報支援員入門」等がある。

14:10～14:40 休憩 ～LLブックやマルチメディアDAISYの展示・実演～

14:40～15:30 世界のバリアフリー絵本展にみるLLブックの動向

攪上 久子(日本国際児童図書評議会理事・世界のバリアフリー絵本展実行委員長)

11年間、世界のバリアフリー絵本展を主催する。日本国際児童図書評議会理事として、国際児童図書評議会の障害児図書資料センター推薦図書の国内選定に関わる。

15:30～15:45 LL写真ブック「わたしのかぞく」

藤澤 和子(大和大学)

15:45～16:05 障がい者や外国人への大阪市の災害対策の今:神戸大震災1995年から20年

大阪市危機管理室 講師依頼中

16:05～16:30 質疑応答 司会 岩崎 隆彦 (姫島こども園施設長)

<総合司会>

岩崎 隆彦 (姫島こども園施設長)

<企画>

吉田 くすほみ (大阪特別支援教育振興会) 藤澤 和子 (大和大学)



主催: 知的障がい・自閉症児者のための読書活動を進める会 大阪市手をつなぐ育成会

共催: 大阪市立中央図書館 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会

日本図書館協会 障害者サービス委員会・関西小委員会 日本図書館研究会

後援: (公益財団法人) 大阪特別支援教育振興会 大阪公共図書館協会 (OLA)